

《巻頭言》

喫煙と脳卒中・循環器病 —血栓症との戦い—

熊本市市民病院 脳神経内科、日本禁煙学会理事

橋本洋一郎

1. 5ヵ年計画(2016年、2021年)

2015年11月21日(土)～22日(日)に第9回日本禁煙学会学術集会を大会テーマ「喫煙と生活習慣病—タバコとNCD—」で熊本において開催させていただきました。

熊本地震(4月14日前震、16日本震)の起こった2016年には、日本脳卒中学会と日本循環器学会の「脳卒中と循環器病克服5ヵ年計画 ストップCVD(脳心血管病)健康長寿を達成するために」の策定に関与させていただきました(2016年12月に発表¹⁾)。さらに2021年3月に第2次5ヵ年計画を発表しました²⁾。①脳卒中と循環器病による年齢調整死亡率を5年間で5%、10年間で10%減少させる、②健康寿命を延伸させる、という2つの大目標を掲げ、脳卒中、心不全、血管病(急性心筋梗塞、急性大動脈解離、大動脈瘤破裂、末梢動脈疾患)の3疾患を克服の対象に、①人材の育成、②

医療体制の充実、③登録事業の促進、④予防・国民への啓発、⑤臨床・基礎研究の強化の5戦略による計画を立案しました。脳卒中と循環器病克服第2次5ヵ年計画(2021年3月)に掲載されている脳卒中・循環器病予防対策の図を示します(図1)²⁾。

2. 循環器病対策基本法(2018年)

2018年12月10日に「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」(脳卒中・循環器病対策基本法)が国会で成立し、12月14日公布(官報掲載号外第276号、平成30年法律第105号)³⁾、2019年12月1日に施行となりました。第12条に「啓発及び知識の普及、禁煙・受動喫煙の防止の取組の推進等の循環器病の予防等の推進に係る施策」と法律で初めて、禁煙が書き込まれました(表1)。

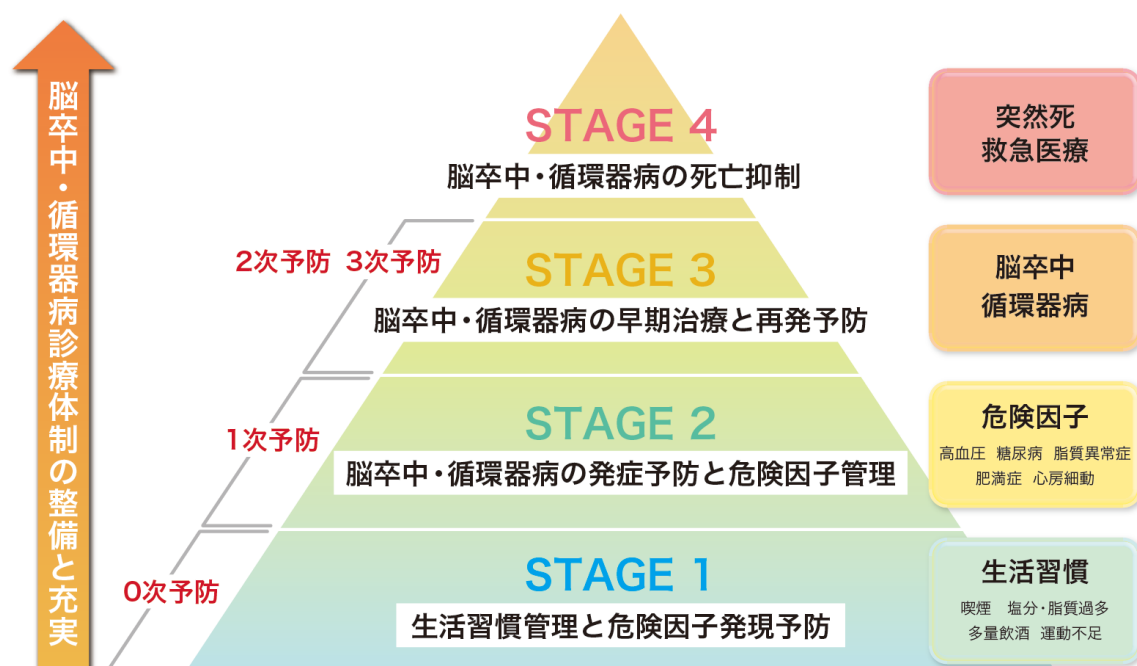


図1 脳卒中・循環器病予防対策 死亡率の減少と健康寿命の延伸へ向けて

表1 8つの基本的施策

(参議院法制局ウェブサイト <https://houseikyoku.sangiin.go.jp/bill/pdf/h30-105.pdf>)

- (1) 啓発及び知識の普及、禁煙・受動喫煙の防止の取組の推進等の循環器病の予防等の推進に係る施策(第十二条)
- (2) 循環器病を発症した疑いがある者の搬送及び医療機関による受入れの迅速かつ適切な実施を図るための体制の整備、救急救命士・救急隊員に対する研修の機会の確保等に係る施策(第十三条)
- (3) 専門的な循環器病医療の提供等を行う医療機関の整備等に係る施策(第十四条)
- (4) 循環器病患者及び循環器病の後遺症を有する者の生活の質の維持向上に係る施策(第十五条)
- (5) 循環器病患者等に対する保健・医療・福祉に係るサービスの提供に関する消防機関、医療機関等の連携協力体制の整備に係る施策(第十六条)
- (6) 循環器病に係る保健・医療・福祉の業務に従事する者の育成・資質の向上に係る施策(第十七条)
- (7) 循環器病に係る保健・医療・福祉に関する情報(症例情報その他)の収集・提供を行う体制の整備、循環器病患者等に対する相談支援等の推進に係る施策(第十八条)
- (8) 循環器病に係る研究の促進等に係る施策(第十九条)

2020年10月27日に政府の「循環器病対策推進基本計画」が閣議決定されました⁴⁾。基本計画には、循環器病の危険因子として喫煙や受動喫煙も挙げられ、禁煙および受動喫煙の防止に関する取組については、健康増進法および健康増進法に基づく基本方針に基づき、喫煙率の減少と受動喫煙防止を図る施策を着実に進める、と記載されてい

ます。

図2に「循環器病対策推進基本計画案 概要」を示します⁶⁾。

現在、都道府県の協議会で循環器病対策推進計画が策定中ですので、皆さんも何らかの形で関与していただければと思います。

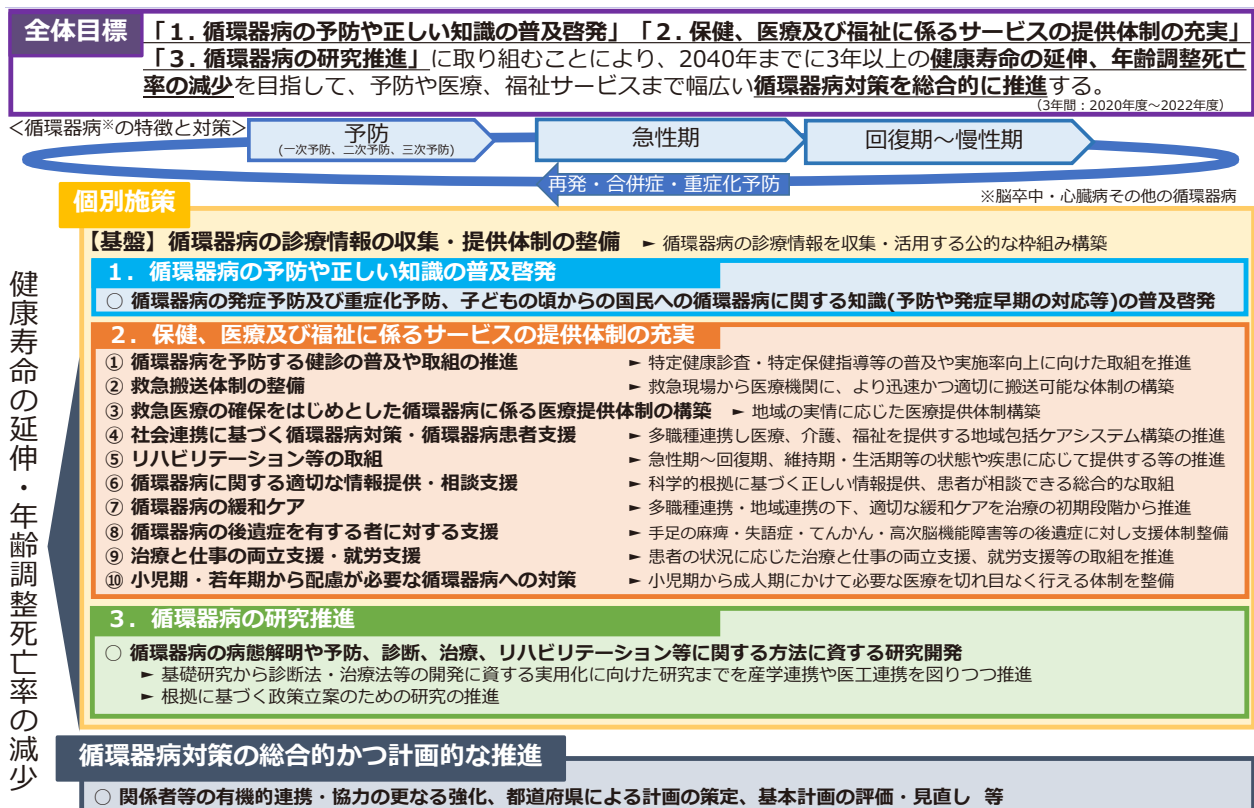


図2 循環器病対策推進基本計画案 概要



図3 左：厚労省のアイコン（2020年）、右：1846年肥後の国不知火海（京都大学附属図書館）

なお2017年7月には厚生労働省から「脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る診療提供体制の在り方」⁵⁾がだされ、立法府、行政府、学会が脳卒中と循環器病の対策を協力して行う体制ができてきています。

3. COVID-19と改正健康増進法（2020年）

2019年7月1日から、改正健康増進法で医療機関を含む第一種施設は、原則敷地内禁煙となりました⁷⁾。屋内は完全禁煙であり、屋内に喫煙所を設けることはできません。

2020年は東京オリンピック開催のすばらしい年になると思っていましたが、新型コロナウイルス（severe acute respiratory syndrome coronavirus 2：SARS-CoV-2）感染症（coronavirus disease 2019：COVID-19）の年になってしまいました。肥後の疫病退散の妖怪「アマビエ」が脚光を浴びることになりました。厚労省のアイコン（2020年⁸⁾）と江戸の瓦版（1846年に肥後の国の不知火海に出現、京都大学附属図書館蔵⁹⁾）を示します（図3）。

喫煙とCOVID-19に関する情報が錯綜し、喫煙者は新型コロナウイルスに感染しにくい¹⁰⁾、喫煙は重症化とは関係ないといった論文も出たりしました¹¹⁾。喫煙歴は重症化のリスクになる（約2倍）¹²⁾、イギリス成人53,002名の調査で生涯非喫煙者に比して現在喫煙者は新型コロナウイルス感染者が有意に多い（他の変量の調整前2.14倍、調整後1.79倍）¹³⁾ことが示されています。

COVID-19では深部静脈血栓症や脳梗塞の合併率が高いことが中国や欧米で報告されました。2020年4月に日本脳卒中学会で「COVID-19対応 脳卒中プロトコル（日本脳卒中学会版 Protected

Code Stroke：JSS-PCS）」を策定し¹⁴⁾、2021年5月に日本血栓止血学会とともに「アストラゼネカ社 COVID-19 ワクチン接種後の血小板減少症を伴う血栓症の診断と治療の手引き」を作成しました¹⁵⁾。コロナ禍でも血栓症との戦いが続いています。

2020年4月1日から改正健康増進法の完全実施によって第二種施設（事務所、工場、ホテル、旅館、飲食店、旅客運送用事業船舶、鉄道等）が原則屋内禁煙となり⁷⁾、受動禁煙対策が法律で進められ、禁煙活動には強い追い風になっています。

4. 5疾病・5事業と在宅医療

21世紀もがんと血栓症との戦いが続いているなか、2006年がん対策基本法、2018年生育基本法と脳卒中・循環器病対策基本法が成立しました。5疾病の中のがん、脳卒中、急性心筋梗塞の3疾病、5事業の中の小児医療と周産期医療の2事業がカバーされることになりました（表2）。5疾病並びに5事業および在宅医療では禁煙対策は大変重要と考えられます。

表2 5疾病・5事業と在宅医療

5疾病	5事業	
①がん	⑥小児医療	在宅医療
②脳卒中	⑦周産期医療	
③急性心筋梗塞	⑧救急医療	感染症医療
④糖尿病	⑨災害医療	
⑤精神疾患	⑩へき地医療	

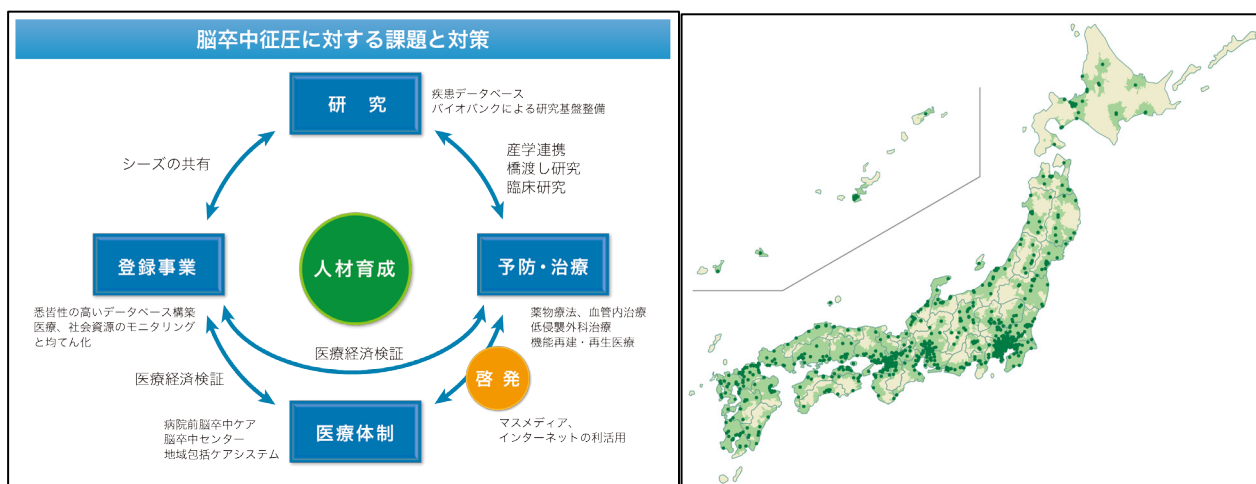


図4 左：第2次5ヵ年計画（2021年）、右：1次脳卒中センターの人口カバー率（2020年）

5. 脳卒中对策

5ヵ年計画も対策基本法も「健康寿命の延伸」を目標としています。2000年に回復期リハビリテーション病棟と介護保険が開始され、脳卒中は急性期・回復期・維持期（生活期）の診療対体制構築が進みました。

第1次5ヵ年計画では「脳卒中センター」の提唱を行い、2019年と2020年に日本脳卒中学会は974施設の1次脳卒中センター（primary stroke center：PSC、rt-PA 静注療法が24/7で可能）の認定を行いました。PSCに救急車で1時間以内に到着できる人口カバー率98.9%、PSCのコア施設（機械的血栓回収療法が24/7可能、231施設）の人口カバー率93.3%で、脳卒中急性期医療の均てん化は、ほぼ達成されています（図4）。

第2次5ヵ年計画では日本脳卒中学会は「脳卒中相談窓口」の設置を目標にしています。また日本

脳卒中協会は「脳卒中サロン」（脳卒中患者のピアサポート）の設置について検討を開始しています。

6. 熊本大会（2016年）から大分大会（2021年）へ

2015年の熊本大会終了後に予想もしないようなことが次々に起こりましたが、脳卒中・循環器病のフィールドでの禁煙活動は地道に、コツコツと続いています。

2020年はCOVID-19のために県外出張ができず、福島大会に参加できませんでした。2021年10月16日と17日の大分大会では皆さんとお会いできることを大変楽しみにいたしております。

2016年の熊本地震で傷ついた熊本城の天守閣が2021年に復活しました。2021年6月28日から天守閣内部公開が開始されました。コロナ禍が収まりましたら熊本へ是非、お越しください。2022年には日本禁煙学会熊本県支部で認定試験を行え



図5 2015年11月20日のライトアップされた熊本城（80名貸し切りの熊本城内で著者撮影）



図6 左：2018年1月3日（二の丸公園より著者撮影）、右：2021年4月30日（二の丸公園より著者撮影）

ばと考えています。

2015年11月20日（会長招宴で2時間熊本城を貸し切り）のライトアップされた熊本城（図5）、二の丸公園より撮影した修復中の2018年1月3日、復活した2021年4月30日の熊本城（天守閣）を最後に示します（図6）。

文 献

- 1) 日本脳卒中学会・日本循環器学会：脳卒中と循環器病克服5カ年計画 ストップCVD（脳心血管病）健康長寿を達成するために（2016年12月）.
http://www.jsts.gr.jp/img/five_year_plan.pdf
- 2) 日本脳卒中学会・日本循環器学会：脳卒中と循環器病克服第二次5カ年計画 ストップCVD（脳心血管病）健康長寿を達成するために（2021年3月）.
- 3) 官報号外第276号（2018年12月14日）に平成30年法律第105号
<https://houseikyoku.sangiin.go.jp/bill/pdf/h30-105.pdf>
- 4) 厚生労働省：循環器病対策基本計画（令和2年10月）.
<https://www.mhlw.go.jp/content/000688359.pdf>
- 5) 厚生労働省：脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る診療提供体制の在り方（2017年7月）.
<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10901000-Kenkoukyoku-Soumuka/0000173149.pdf>
- 6) 厚生労働省：循環器病対策推進基本計画の概要
<https://www.mhlw.go.jp/content/10905000/000688414.pdf>
- 7) 厚生労働省：健康増進法の一部を改正する法律（平成30年法律第78号）概要
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000469083.pdf>
- 8) 厚生労働省医政局看護課：知らないうちに、詰め

ちゃうから。アマビエ啓発アイコン

<https://www.facebook.com/489982141211103/posts/1521655694710404/>

- 9) 京都大学貴重資料デジタルアーカイブ：肥後国海中の怪（アマビエの図）
<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/item/rb00000122/explanation/amabie>
- 10) Farsalini K, Barbouni A, Niaura R: Systematic review of the prevalence of current smoking among hospitalized COVID-19 patients in China: could nicotine be a therapeutic option? Intern Emerg Med 2020; 15: 845-852.
- 11) Lippi G, Henry BM. Active smoking is not associated with severity of coronavirus disease 2019 (COVID-19). Eur J Intern Med 2020; 75: 107-108.
- 12) Patanavanich R, Glantz SA. Smoking is Associated with COVID-19 Progression: A Meta-Analysis. Nicotine Tob Res 2020; 22: 1653-1656.
- 13) Jackson SE, Brown J, Shahab L, et al: COVID-19, smoking and inequalities: a study of 53 002 adults in the UK. Tob Control. 2020 Aug 21: tobaccocontrol-2020-055933. doi: 10.1136/tobaccocontrol-2020-055933. Epub ahead of print. PMID: 32826387; PMCID: PMC7445100.
- 14) 日本脳卒中学会：COVID-19対応 脳卒中プロトコル（日本脳卒中学会版Protected Code Stroke: JSS-PCS）. 脳卒中 42: 315-343, 2020.
https://www.jsts.gr.jp/news/pdf/jss_pcs_ver1_2.pdf
- 15) 日本脳卒中学会・日本血栓止血学会：アストラゼネカ社 COVID-19 ワクチン接種後の血小板減少症を伴う血栓症の診断と治療の手引き・第2版（2021年6月）.
https://www.jsts.gr.jp/news/pdf/20210601_tts2_3.pdf